

展開する事業群(3-2-1)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	生活環境の整備による子育ての支援
基本施策分野		豊かな自然の活用と保全

事業名称	事業内容(細事業)	19年度実績
自然体験活動等の促進	自然体験活動の促進 (薪甘南備山生活環境保全林の拡充など)	薪甘南備山生活環境保全林の維持管理を行った。(平成18年度 同)
	野外活動のつどい	(再掲2-(1)-)
	子どもの日(野外活動に親しむ日)無料開放	(再掲2-(1)-)
	土曜わくわく体験教室	(再掲2-(1)-)
	学校田、学級園等での野外活動体験活動の推進	各小学校で総合的な学習、特別活動の時間の中で実施。(平成18年度 同)
自然観察会の実施	自然観察会の実施	きょうたなべ環境市民パートナーシップとホタルを見守る取組を実施。また、里山再生に向けた取組の中で植物観察などを実施。(平成18年度 同)
水と緑のネットワークの推進	広幅員道路や河川を利用した線的緑化と自歩道のネットワーク化	河川整備と連携した取り組みのため、現在河川整備中である。(平成18年度 同)

緑化の推進	誕生記念樹配布の実施	()は平成18年度 H.19年11月に133人(126人)、H.19年3月に126人(134人) 合計259人 (260人)に配布。
	市民記念植樹祭の実施	H.19年4月に 12組(平成18年度 15組)が記念植樹を行った。
美化意識向上のための啓発	市民一斉清掃の推進	2回実施(延べ45団体)、参加者13,388人 (平成18年度 2回実施(延べ48団体)、参加者12,924人)
	美化啓発看板の設置	不法投棄防止看板50枚(平成18年度 100枚)を制作
	空き地除草の指導	市内160箇所の空き地の除草指導を実施(平成18年度 同)
市民環境セミナーの実施	市民環境セミナーの開催	2月24日、参加者 約80人(平成18年度 同)
循環型社会の構築	ごみの分別収集の徹底 (ごみ収集カレンダー、広報紙、ホームページ等により告知し、ごみの分別を周知徹底)	ごみ収集カレンダー、広報誌及びチラシによるPR,ホームページによるPRなどを行った。 広報誌への掲載 5回(平成18年度 8回) チラシの配布 3回(平成18年度 4回)
	家庭生ごみ自家処理容器等設置費補助 (家庭から排出される生ごみを自家処理してもらうことによりごみの減量化を図る。購入金額に対して補助金交付)	補助件数 32件(平成18年度 38件)
	再生資源集団回収事業補助 (家庭から排出されるごみの内、再生できるごみをリサイクルしてもらうことにより、ごみの減量化を図る。リサイクル量に応じて補助金交付)	補助団体数 74団体(平成18年度 72団体) 2,673t(平成18年度 2,614t)
	教室・講座の開催 (ごみの減量化施策、情報等についての講演等)	年間 2回の開催を行った。(平成18年度 1回)